

お花の栽培シリーズ「ホトギス」

2009年1月	睦月(むつき)・正月(しょうがつ)・初陽(しよよう)・年初月(ねんしよげつ)・太郎月(たろうづき)・祝月(いわいづき)	●花作りの今年1年間の計画をたてましよう
---------	---	----------------------

今年はずひ育ててみたい新しい植物はありませんか？ 参考書やカタログなどで知識や情報を仕込み、あれこれ考えをめぐらすのは楽しいものです。暖かくなると忙しくなるので、寒いうちに理想の庭に仕上げるために、じっくりと考えたいものです。

庭木の作業	・休眠の時期なので植え替えは不適當。枯れ枝や病気の枝を切り、害虫の卵やサナギなどを見つけたらとります。
-------	---

草花の作業	・根が十分に張っていない苗などは、霜によって持ち上げられ、乾燥して枯れる心配があるので、株の周りを踏みつけ、必要ならば霜よけや防寒を十分に守ります。
-------	--

今月の誕生花	オンシジウム・ツバキ・エリカ
--------	----------------

今月の花	<p>ヒヤシンス 花言葉 / スポーツ、ゲーム、勝負、控え目な愛 (青)不変の愛 (紫)私は悲しい (赤)嫉妬 (白)悲哀</p>
------	---

ギリシャ神話では、ヒアキントスはスポーツ好きの美少年でした。太陽神アポロンと西風神ゼフロスに愛されていましたが、少年は移り気な西風よりも、太陽神のほうに心ひかれていました。ある日アポロンが、ヒアキントスと二人で円盤投げをして遊んでいたところ、ゼフロスが通りかかり、二人の親しげな様子に嫉妬しました。そしてアポロンの投げた円盤に、強い西風を吹きつけヒアキントスの額にぶつけたのです。ヒアキントスの額は割れ、真っ赤な血が流れ出しました。アポロンは嘆き悲しみ、「私が代わりに死にたい。アイ、アイ(悲しい、悲しい)」と横たわった青年を抱いて叫んだところ、血に染まった草たちの中から、1本の美しい紫色のヒヤシンスの花が咲いたということです。「アイ」とは、ギリシャ語の「アエイ(永遠)」という言葉に似ているので、この花は悲哀と思い出を表す花となり、この話から『スポーツ』『ゲーム』『私は悲しい』などの花言葉も付きました。



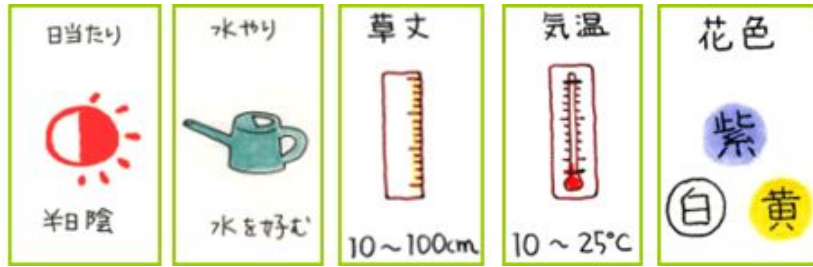
原産地は地中海沿岸、北アフリカ。ユリ科ヒヤシンス(ヒアキントス)属の多年草。草丈は20cm～30cm。開花時期は12～5月、最盛期は2～3月。葉の形状は、肉厚で先の細い広線形。花持ちは7～10日程度。花色は、赤・ピンク、黄・オレンジ、青・紫、白。英名コモン・ヒヤシンス(Common Hyacinth) 別名ヒヤシンス、錦百合(にしきゆり)、風信子(漢字表記)

花に強い芳香があるので、病院などに持っていくときは、周囲への配慮が必要。水栽培もできます。

## お花の栽培シリーズ

今月の花

ホトギス



栽培は比較的簡単です。もともと日陰の植物なので、夏の直射日光があたり、地温が低く保たれる場所に植えます。初夏から梅雨入りまでは、日光に当てるようにします。

ホトギスに乾燥は禁物です。春から夏にかけては、常に表土が湿っている状態に管理し、1日1回は十分に水をやります。ただし、用土の水はけはよくなくてはいけません。

株分けと挿し芽で簡単にふやすことができます。耐寒性がありますので、屋外で冬越しさせることができます。鉢植えは、鉢ごと土の中に埋めたり、フレームなどで乾燥気味に管理します。花卉につく斑点の模様が鳥のホトギスに似ていることから、この名前があります。ホトギスの仲間は、日本に約10種類が自生していて、斑点のない白い花などもあります。



### ● 植えつけのやり方

#### 【露地栽培】



夏の直射日光の当たらない  
地温の低い場所!!

本来日陰の植物なので、夏の直射日光は当たらない場所に植えつける。  
とくに、夏でも地温が上がらずひんやりした場所がよ

#### 【鉢植え】

用土は水はけをよくし、こまめに水やりをする。  
植えつけは2月下旬~3月上旬に行う。  
(鹿沼土7+腐葉土3 または 桐生砂+赤玉土+腐葉土)

### ● 挿し芽のやり方



## ●株分けでのふやし方

根を傷めないように気を付けながら、古い土を落とす。芽のところを持っておこなうと自然に株が分かれます。



### ★鑑賞方法★

ホトギス類は、その草姿や花を鑑賞の対象とします。深い鉢や、膝高の鉢に植え付け、床の間やテーブルの上に飾ってもよいのですが、庭の木陰や池の縁に植えて、自然的な美しさを楽しむこともできます。この仲間には、ジョウロウホトギスのように茎が垂れ下がる種類や、チャボホトギスのように丈が低く、地陰で咲く種類もあるため、鑑賞目的に合わせて、種類や品種を選ぶなど適切な方法で作りこんでいく必要があるでしょう。

## ●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状況	花期											
所植え置き場	屋外の日当たりのよい場所							屋外の半日陰/露地栽培は日よけをする			屋外の日当たりのよい場所	
水やり	表土がかかりたら与える (3~4日1回)		表土がかかりたら与える (1日1回)			表土がかかりたら与える (1日2回)		表土がかかりたら与える (1日1回)		表土がかかりたら与える (3~4日1回)		
肥料	(鉢植え) ***** 10日ごとに液肥を与える (露地栽培) ◎ 有機配合肥料を与える								(露地栽培) ◎ 有機配合肥料を与える			
害虫気										ヨトウムシやケムシなどの食害に注意する		
作業	植えつけ		株分け		挿し芽							